



楽しくて力のつく学校

石部小学校 校報 第5号

平成20(2008)年10月15日

児童数：392名

電話：77-2030

Fax：77-6733

いしべっ子は 「生きる力」が育っています

◆ 家庭学習時間 と 地域の人との挨拶 が課題

— 平成20年度「全国学力・学習状況調査結果」より —

校長 谷口 茂雄

「全国学力・学習状況調査結果」(以下、「学力調査」と略します。)は、大阪府の知事が「公表しない地教委へは、教育予算をカットする」などと脅したりして、国語と算数の「知識のみが学力」との誤解を強く植え付けています。



文科省も言っていますが、今回の調査で明らかになるのは「学力の一部」でして、この数字のみを公表して、県や市や学校を比べるのは、結果の正しい活用の仕方ではありません。

しかも、統計上意味のある差(=有意差)とされるのが5ポイントなのですが、新聞等での数字では0.1ポイントごとに差がつけられています。これでは、以前に批判された「輪切り教育」や「詰め込み教育」に戻るのかと懸念されても仕方がない面も感じられます。

これからの学校で育てるべき力として、学習指導要領でも明記されているのは「生きる力」です。「生きる力」の中身は、

- ① 自ら学び、自ら考える力 (知)
- ② 豊かな人間性 (徳)
- ③ 健康でたくましい身体 (体)

見てお分かりのことと思いますが、「生きる力」の中身として、昔から言われている「知・徳・体」は変わりません。しかし、「知の中身」が変わるのです。

昔は、先生から習ったことをどれだけ覚えているかで学力を測りました。これからの学力としては、

- ※ 自分で課題を見つけること。
- ※ 自分にとって、本当に必要な情報を選択すること。



- ※ 自分で考えて判断し、行動すること。
 - ※ よりよく問題を解決し、表現すること。
- このような内容を大事にしていこうと言うわけです。

「※」で示したような能力は、ペーパーテストで簡単に測れるものではありません。

「学力調査で明らかになるのは、学力の一部」というのは、そういう意味です。

そうであるのに、標題のように「いしべっ子は、生きる力が育っている」と書いたのは訳があります。

実は今回（前回も）の学力テストは、国語と算数のペーパーテストだけではなく、子どもたちへの「質問用紙」もあり、子どもたちの生活状況も調べるものとなっています。

その結果、ペーパーテストと生活状況との関係を見ると、
◎ 家で自分で計画を立てて勉強をする児童の方が、正答率が高い。とか、
◎ 読書が好きな児童の方が、国語の正答率が高い。とか、
◎ 家の人と学校での出来事について話をしている児童の方が、正答率が高い。などと、言い切ることが出来るわけです。



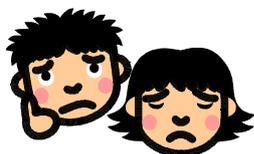
「生きる力」に関わる内容で、いしべっ子が全国平均を5ポイント以上よかったのは、次のような質問に対してです。

- ◆自分には、よいところがあると思いますか
(全国平均より、12.7ポイントよい傾向)
- ◆将来の夢や目標を持っていますか
(全国平均より、10.9ポイントよい傾向)
- ◆今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか
(全国平均より、5.6ポイントよい傾向)
- ◆難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか
(全国平均より、5.3ポイントよい傾向)

いしべっ子たちは、自分に自信を持ち、将来への夢を持ち、地域に関心を持ち、失敗をおそれないで挑戦を続けています。

「生きる力」を身につけるために非常に必要な態度を、全国平均以上に示しているのです。

どうぞご安心ください。



しかし、手放しで喜べない結果もあります。
全国平均より、5ポイント

以下低い傾向の回答もあるのです。次の内容です。

▼近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか

(していない子が、全国平均より18.5ポイント多い)

▼家で学校の授業の復習をしていますか

(していない子が、全国平均より16.8ポイント多い)

▼土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

(まったくしない子が、全国より7.7ポイント多い)

いしべっ子たちは、「生きる力」が育つよい姿勢を持っていますが、地域の人との挨拶が足りません。家庭学習も足りません。

地域の人と挨拶しないことは、地域とのつながりが弱くなることから、いしべっ子たちの「生きる自信の希薄さ」につながります。家庭学習が足りないことは、基礎基本の定着が不徹底ということにもつながってきます。

この傾向は、今年の6年生のみの現象ではないと、学校では話し合っています。

そこでお願いします。**学校では、**

- ① 子どもの方から先に声を出して、地域の人と挨拶することを、さらに指導します。
- ② 宿題の中身や出し方を含めて、家庭学習がしっかり出来る指導を工夫します。
(宿題が無くても、家庭学習が出来ることが最終目標です。)

ご家庭では、

- ◎ 「地域の人と挨拶するんやで」との声かけを続けてください。
- ◎ 家庭学習をしている姿を見つけて、ほめてやってください。

地域の方は、

- ◎ 登校や下校の時の子どもに、声をかけてやってください。

明日の子どもを育てるのは、学校だけでは
ありません。保護者・地域の方々と力を合わ

せて、子ども育てに当たりたいと思います。
ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。
